

表1. 妊婦HTLV-Iスクリーニング検査成績の27年間の年次推移

年	妊婦抗体検査数 (A)	精密検査数 (B)	抗体陽性者数 (C)	妊婦抗体陽性率 (C)/(A) %
1987	-	511	390	-
1988	9579	1076	691	7.2
1989	15241	856	702	4.6
1990	14504	804	658	4.5
1991	14221	725	630	4.4
1992	12123	677	566	4.7
1993	10422	600	513	4.9
1994	9814	523	477	4.9
1995	11820	463	420	3.6
1996	12966	396	342	2.6
1997	12273	321	310	2.5
1998	12403	356	339	2.7
1999	12008	290	279	2.3
2000	10286	287	276	2.7
2001	11279	242	229	2.0
2002	10724	230	211	2.0
2003	10493	197	180	1.7
2004	9990	184	177	1.8
2005	8987	133	127	1.4
2006	8909	144	138	1.5
2007	8713	139	129	1.5
2008	8930	131	124	1.4
2009	9654	134	114	1.2
2010	9998	145	119	1.2
2011	9873	117	102	1.0
2012	9598	122	97	1.0
2013	10394	133	108	1.0
合計	285209	9936	8448	2.8

表2. 出生年代別に見た妊婦のHTLV-1スクリーニング検査成績(2001～2013年累積)

年代別	1次検査	2次検査		陽性率	陽性率
	実施数	対象数	陽性数	(%)	(%)
1955以前	10	1	1	10.00	1.46
1956～1960	238	8	8	3.36	
1961～1965	2,957	89	87	2.94	
1966～1970	13,662	310	297	2.17	
1971～1975	34,006	555	499	1.46	
1976～1980	36,876	532	475	1.29	
1981～1985	24,819	326	274	1.10	
1986～1990	8,870	76	60	0.68	0.63
1991～1995	1,236	8	4	0.32	
1996～2000	25	1	0	0.00	
合計	122,759	1,906	1,705	1.42	1.39

(%)

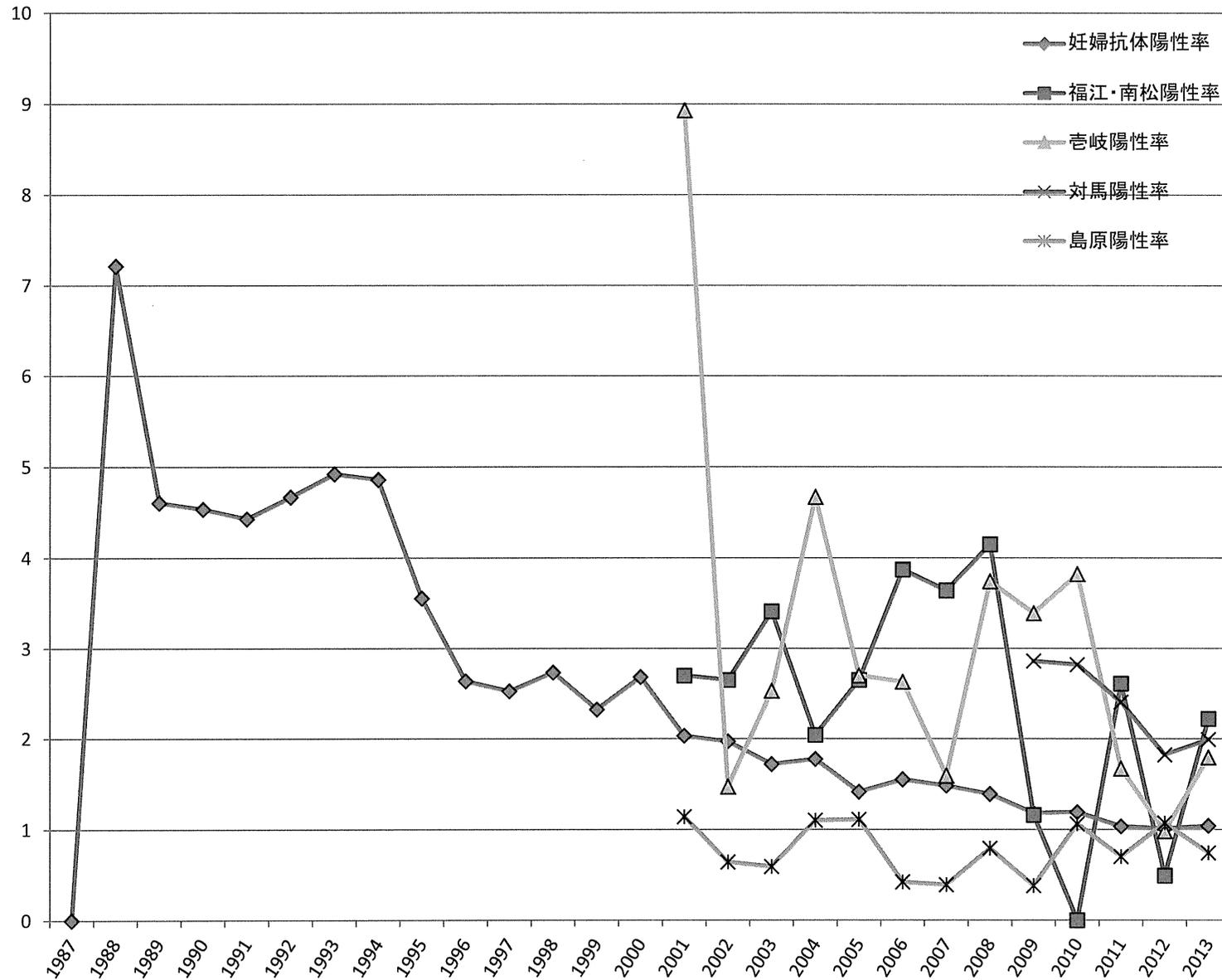


表3. 長崎県内の地域別に見た妊婦のHTLV-1スクリーニング検査成績の推移

表4. キャリア妊婦が選択した栄養法の年次推移と啓発活動の重要性

検査年	人工	混合	短期母乳	母乳	合計
1999	117	5	8	18	148
(%)	79.1	3.4	5.4	12.2	
2000	97	2	15	12	126
(%)	77	1.6	11.9	9.5	
2001	85	3	15	13	116
(%)	73.3	2.6	12.9	11.2	
2002	70	2	18	16	106
(%)	66.0	1.9	17.0	15.1	
2003	76	2	10	16	104
(%)	73.1	1.9	9.6	15.4	
2004	63	7	18	26	114
(%)	55.3	6.1	15.8	22.8	
2005	53	1	11	8	73
(%)	72.6	1.4	15.1	11.0	
2006	43	1	18	8	70
(%)	61.4	1.4	25.7	11.4	
2007	43	0	13	13	69
(%)	62.3	0.0	18.8	18.8	
2008	38	0	15	11	64
(%)	59.4	0.0	23.4	17.2	
2009	55	1	22	8	86
(%)	64.0	1.2	25.6	9.3	
2010	66	1	20	9	96
(%)	68.8	1.0	20.8	9.4	
2011	58	0	19	5	82
(%)	70.7	0.0	23.2	6.1	
2012	63	1	16	4	84
(%)	74.1	1.2	19.0	4.8	
2013	75	1	16	7	99
(%)	75.8	1.0	16.2	7.1	
合計	1,002	27	234	174	1,436
(%)	70.5	1.9	16.3	12.1	

長崎県ATLウイルス母子感染防止に関する講演会

日時 2008年1月29日(土)
17:30~21:00(16:30受付開始)
場所 良順会館(長崎大学医学部構内)
対象 助産師、保健師、看護師、医師

- 司会 長崎大学医学部産婦人科 教授 増崎英明
- 講演1 「はじめに：なぜ今、ATLなのか」
長崎大学医学部産婦人科 教授 増崎英明
- 講演2 「HAM(HTLV-1関連脊髄症と私」
長崎・佐賀HAM患者会(ひまわり) 代表 西 次夫
- 講演3 「成人T細胞白血病・リンパ腫に対する治療の現状」
長崎大学医学部・歯学部附属病院 血液内科 医局長 福島 卓也
- 講演4 「長崎県ATLウイルス母子感染防止研究協力事業・20年の成果と今後の事業展開」
長崎県県南保健所 所長 土居 浩

長崎県ATLウイルス母子感染防止に関する講演会

日時：2013年2月8日(金)
18:00~20:20 (17:30受付開始)

場所：良順会館(長崎大学医学部構内)
対象：助産師、保健師、看護師、医師

開会の挨拶 18:00-18:10

講演1 18:10-18:30
【長崎県ATLウイルス母子感染防止事業の成果】
長崎大学医学部産婦人科 助産 葛山 尚史

講演2 18:30-19:00
【HTLV-1キャリアの現状】
長崎大学医学部産婦人科 教授 増崎 英明

講演3 19:10-20:00
【HTLV-1/ATLの現状】
東京大学大学院 新藤 敏成 氏 特別講演
メダカカクノ 滋 氏

閉会の挨拶 20:10

長崎県ATLウイルス
長崎県産婦人科学会



長崎県ATLウイルス母子感染防止に関する講演会

日時：2013年12月18日(水)
18:00~20:10 (17:30受付開始)

場所：長崎県医師会館
(長崎市茂里町3-27 TEL 095-844-1111)

対象：助産師、保健師、看護師、医師

開会の挨拶 18:00-18:10

講演1 18:10-18:30
【長崎県ATLウイルス母子感染防止事業の成果】
長崎大学医学部産婦人科 教授 増崎 英明

講演2 18:30-18:50
【乳少疾患、難病HAMの最新への進歩の現状】
長崎・佐賀HAM患者会(ひまわり)代表 西 次夫

講演3 19:00-19:30
【ATL治療の現状】
長崎大学医学部産婦人科 助産 葛山 尚史
長崎大学医学部産婦人科 助産 葛山 尚史
長崎大学医学部産婦人科 助産 葛山 尚史

講演4 19:30-20:00
【HTLV-1 総合対策3年目の現状】
東京大学大学院 新藤 敏成 氏 特別講演
メダカカクノ 滋 氏

閉会の挨拶 20:00-20:10

長崎県ATLウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会・厚生労働科学研究機構
長崎県産婦人科学会・長崎県産婦人科医会・長崎県母性衛生学会



表5. HTLV-Iキャリア妊婦が選択した栄養法別にみた児のHTLV-I抗体陽性率(1990-2000)

栄養法	総数	陽性例	陰性例	HTLV-1抗体陽性率 (母子感染)
人工栄養	962	23	939	2.4%
短期母乳栄養	169	14	155	8.3%
長期母乳栄養	346	71	275	20.5%

短期母乳栄養:6ヶ月未満

(長崎県ATLウイルス母子感染防止研究協力事業(APP)報告書20年のあゆみ)

連絡票

施設名: _____ 妊婦氏名: _____ 患者番号: _____

A. 妊婦について

- a 妊婦の生年月日:
西暦 年 月 日
- b 妊婦の出身地:
 長崎県内
 長崎県外()
- c 陽性妊婦自身が受けた栄養法
 人工栄養
 短期母乳栄養(3ヶ月未満)
 中期母乳栄養
(3ヶ月以上6ヶ月未満)
 長期母乳栄養(6ヶ月以上)
 凍結母乳

 混合栄養
 初乳+人工栄養
 その他の組み合わせ
()

B. 今回の妊娠経過について

- a 妊娠歴 (G - P)
 初産婦 経産婦
- b 喫煙: 有(本/日) 無
- c 妊娠合併症 (有 無)
 妊娠高血圧症候群
 子宮内胎児発育不全
 切迫早産
 多胎妊娠
(双胎 三胎 四胎 五胎)
 HELLP症候群
 前置胎盤
 癒着胎盤
 その他 ()

C. 分娩経過について

- (分娩週数: 週 日)
 経腔分娩
 帝王切開
(陣痛発来 : 有 無)
 誘発分娩 (有 無)
 頸管拡張 PG内服
 アトニン PGF2α
子宮底圧出: 有 無

D. 今回、妊婦が選択した栄養法

- 人工栄養
 短期母乳栄養(3ヶ月未満)
 中期母乳栄養
(3ヶ月以上6ヶ月未満)
 長期母乳栄養(6ヶ月以上)
 凍結母乳

 混合栄養
 初乳+人工栄養
 その他の組み合わせ
()

表6. HTLV-1キャリア妊婦の妊娠背景に関する調査

表7 Western Blot法で判定保留例におけるHTLV-1抗体検査結果とHTLV-1プロウイルス量

case	Western Blot	PA	CLEIA	PVL(%)	PCR判定	スクリーニング最終判定
2013-088	indeterminate	4096	43.8	0.51%	+	+
2011-067	indeterminate	>16	25.9	0.07%	+	+
2012-077	indeterminate	512	15.7	1.47%	+	+
2011-069	indeterminate	>32	14.7	0.00007%	+	+
2012-104	indeterminate	256	12	0.0018%	+	+
2014-005	indeterminate	256	10.5	0.02%	+	+
2012-063	indeterminate	>128	10.2	0.004%	+	+
2013-053	indeterminate	256	10	0.005%	+	+
2012-099	indeterminate	128	9.3	0.13%	+	+
2011-109	indeterminate	>64	8.3	0.02%	+	+
2012-056	indeterminate	>128	8.0	0.28%	+	+
2013-020	indeterminate	128	7.3	0.07%	+	+
2012-022	indeterminate	128	7	0.04%	+	+
2013-031	indeterminate	128	6.7	0.00%	-	-
2013-056	indeterminate	256	5.9	0.14%	+	+
2012-069	indeterminate	128	5.7	0.14%	+	+
2013-080	indeterminate	64	3.3	0.003%	+	+
2012-088	indeterminate	128	3.1	0.003%	+	+
2012-028	indeterminate	64	3.1	0.00005%	+	+
2013-002	indeterminate	64	2.9	0.002%	+	+
2013-004	indeterminate	64	2.5	0.12%	+	+
2013-012	indeterminate	16	2.3	0.00%	-	-
2013-027	indeterminate	32	1.7	0.00%	-	-
2013-107	indeterminate	32	0.5	0.00%	-	-
2012-066	indeterminate	16?	0.5	0.00%	-	-
2012-045	indeterminate	64	0.2	0.00%	-	-
2013-009	indeterminate	16?	0.1	0.00%	-	-
2013-016	indeterminate	16?	0.1	0.00%	-	-
2012-058	indeterminate	<16	0.1	0.00%	-	-
2012-074	indeterminate	<16	0.1	0.00%	-	-
2012-114	indeterminate	<16	0.1	0.00%	-	-

表8. 妊娠中はPCRでプロウイルスを検出したが、分娩後に消失した5症例

No.	妊娠中					分娩後		
	CLEIA	WB判定	リアルタイムPCR法 (原液DNA)	リアルタイムPCR法 (100ngDNA)	デジタルPCR法 (100ngDNA)	WB判定	リアルタイムPCR法 (100ngDNA)	デジタルPCR法 (100ngDNA)
2012-70	14.9	陽性	0.0817	0	0	陽性	0	0
2013-19	20.4	陽性	0.0558	0	0	判定保留	0	0
2013-37	15.8	陽性	0.3182	0	0	陽性	0	0
2013-52	5.8	陽性	4.9723	7.8723	3.3786	陽性	NA	0
2013-80	3.3	判定保留	0.3067	0	0.5204	判定保留	NA	0

NA=not aplicable

単位 copie /10⁴cells

表9.本研究の達成状況

1)平成23年度:

- 研究1:妊婦HTLV-1抗体スクリーニングがもたらす母子感染予防効果を検証する。
- 研究2:PCR検査法を導入した妊婦HTLV-1感染症スクリーニングシステムを確立する。

2)平成24年度:

- 研究3:妊娠合併症とHTLV-1ウイルス量との関連を明らかにする。
- 研究4:母乳以外の感染経路の存在の有無を明らかにする。

3)平成25年度:

- 研究5:PCR検査法を導入した高精度スクリーニングシステムを開発する。
- 研究6:HTLV-1キャリア妊婦への介入試験の有効性を評価する。

Ⅲ. 会 議 記 録

III. 会議記録

1. 平成 23 年度長崎県 A T L ウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会
平成 23 年度班連絡会議

研究課題：「25 年間継続した妊婦の HTLV-1 抗体検査から得られた母子感染予防効果の検証および高精度スクリーニングシステム開発」

課題番号：H23-新興-一般-026

日時：2012 年 3 月 15 日 18：00-20：00

場所：長崎県医師会館

長崎市茂里町 3-27

2. 平成 24 年度長崎県 A T L ウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会

日時：2013 年 3 月 18 日 18：00-20：00

場所：長崎県医師会館

長崎市茂里町 3-27

3. 平成 24 年度班連絡会議

研究課題：25 年間継続した妊婦の HTLV-1 抗体検査から得られた母子感染予防効果の検証および高精度スクリーニングシステム開発

課題番号：H23-新興-一般-026

日時：2013 年 2 月 8 日（金）17：00-17：50

会場：良順会館・専斎ホール（長崎大学医学部内）

〒852-8523 長崎市坂本 1 丁目 12 番 4 号

TEL:095-819-7363（事務局：長崎大学医学部産婦人科内）

4. 公開講座：平成 24 年度長崎県 A T L ウイルス母子感染防止に関する講演会

主催：長崎県 ATL 母子感染予防連絡協議会・厚生労働省科学研究増崎班

共催：長崎産婦人科学会・長崎県産婦人科医会・長崎県母性衛生学会

日時：2013 年 2 月 8 日（金）18：00-20：20

会場：良順会館・ボードインホール（長崎大学医学部内）

〒852-8523 長崎市坂本 1 丁目 12 番 4 号

TEL:095-819-7363（事務局：長崎大学医学部産婦人科内）

プログラム

開会のあいさつ：18：00-18：10

講演 1：18：10-18：30（20分）

「長崎県 ATL ウイルス母子感染防止事業の成果」

講師：長崎大学医学部産婦人科助教 築山尚史先生

講演 2：18：30-19：00（30分）

「HTLV-1 キャリアの診断と問題点（仮題）」

講師：長崎大学医学部病態解析・診断学教授 柳原克紀先生

休憩：19：00-19：10

講演 3：19：10-20：10（60分）

「HTLV-1/ATL の研究の現状」

講師：東京大学大学院教授

新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻専攻長 渡邊 俊樹先生

閉会のあいさつ：20：10-20：20

5. 平成 25 年度班連絡会議

研究課題：25 年間継続した妊婦の HTLV-1 抗体検査から得られた母子感染予防効果の検証および高精度スクリーニングシステム開発

課題番号：H23-新興-一般-026

日時：2013 年 12 月 18 日（水）17：00-18：00

会場：長崎県医師会館

長崎市茂里町 3-27

TEL:095-819-7363（事務局：長崎大学医学部産婦人科内）

6. 公開講座：平成 25 年度長崎県 ATL ウイルス母子感染防止に関する講演会

主催：長崎県 ATL 母子感染予防連絡協議会・厚生労働省科学研究増崎班

共催：長崎産婦人科学会・長崎県産婦人科医会・長崎県母性衛生学会

日時：2013 年 12 月 18 日（水）18：00-20：10

会場：長崎県医師会館

長崎市茂里町 3-27

TEL:095-819-7363（事務局：長崎大学医学部産婦人科内）

プログラム

開会のあいさつ：18：00-18：10

講演 1：18：10-18：30

「長崎県 ATL ウイルス母子感染防止事業の成果」

講師：長崎大学医学部産婦人科教授 増崎英明

講演 2 : 18 : 30-18 : 50

「希少疾患、難病 HAM の薬剤への道のり遠く」

講師：長崎・佐賀 HAM 患者会（ひまわり）代表 西 次夫

休憩：18 : 50-19 : 00

講演 3 : 19 : 00-19 : 30

「ATL 治療の現状」

講師：長崎大学原爆後障害医療研究所原爆・ヒバクシャ医療部門血液内科学研究分野教授
宮崎泰司

講演 4 : 19 : 30-20 : 10

「HTLV-1 総合対策 3 年目の現状」

講師：東京大学大学院教授

新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻専攻長 渡邊 俊樹先生

閉会のあいさつ：20 : 10-20 : 20

7. 平成 25 年度長崎県 A T L ウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会

日時：2014 年 3 月 17 日 18 : 00-20 : 00

場所：長崎県医師会館

長崎市茂里町 3-27

長崎県ATLウイルス 母子感染防止に関する講演会

日 時：2013年2月8日(金)
18:00～20:20 (17:30受付開始)

参加費
無 料

場 所：良順会館・ボードインホール(長崎大学医学部構内)

対 象：助産師、保健師、看護師、医師

開会の挨拶 18:00-18:10

司 会 長崎大学医学部産婦人科
教授 増 崎 英 明

講演1 18:10-18:30

『長崎県ATLウイルス
母子感染防止事業の成果』
長崎大学医学部産婦人科
助教 築 山 尚 史

講演2 18:30-19:00

『HTLV-1キャリアの診断と
問題点(仮題)』
長崎大学医学部病態解析・診断学
教授 柳 原 克 紀

—— 休憩(19:00-19:10) ——

講演3 19:10-20:10

『HTLV-1/ATLの研究の現状』
東京大学大学院教授
新領域創成科学研究科
メディカルゲノム専攻専攻長
渡 邊 俊 樹

閉会の挨拶 20:10-20:20



主催 長崎県ATLウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会・厚生労働科学研究増崎班

共催 長崎産科婦人科学会・長崎県産婦人科医会・長崎県母性衛生学会

長崎県ATLウイルス 母子感染防止に関する講演会

日 時：2013年12月18日(水)
18:00~20:10 (17:30受付開始)

参加費
無 料

場 所：長崎県医師会館
(長崎市茂里町3-27 TEL 095-844-1111)

対 象：助産師、保健師、看護師、医師

開会の挨拶 18:00-18:10

司 会 長崎大学医学部産婦人科
教授 増 崎 英 明

講演1 18:10-18:30

『長崎県ATLウイルス
母子感染防止事業の成果』
長崎大学医学部産婦人科
教授 増 崎 英 明

講演2 18:30-18:50

『希少疾患、難病HAMの
薬剤への道のり遠く』
長崎・佐賀HAM患者会(ひまわり)代表
西 次 夫

—— 休憩(18:50-19:00) ——

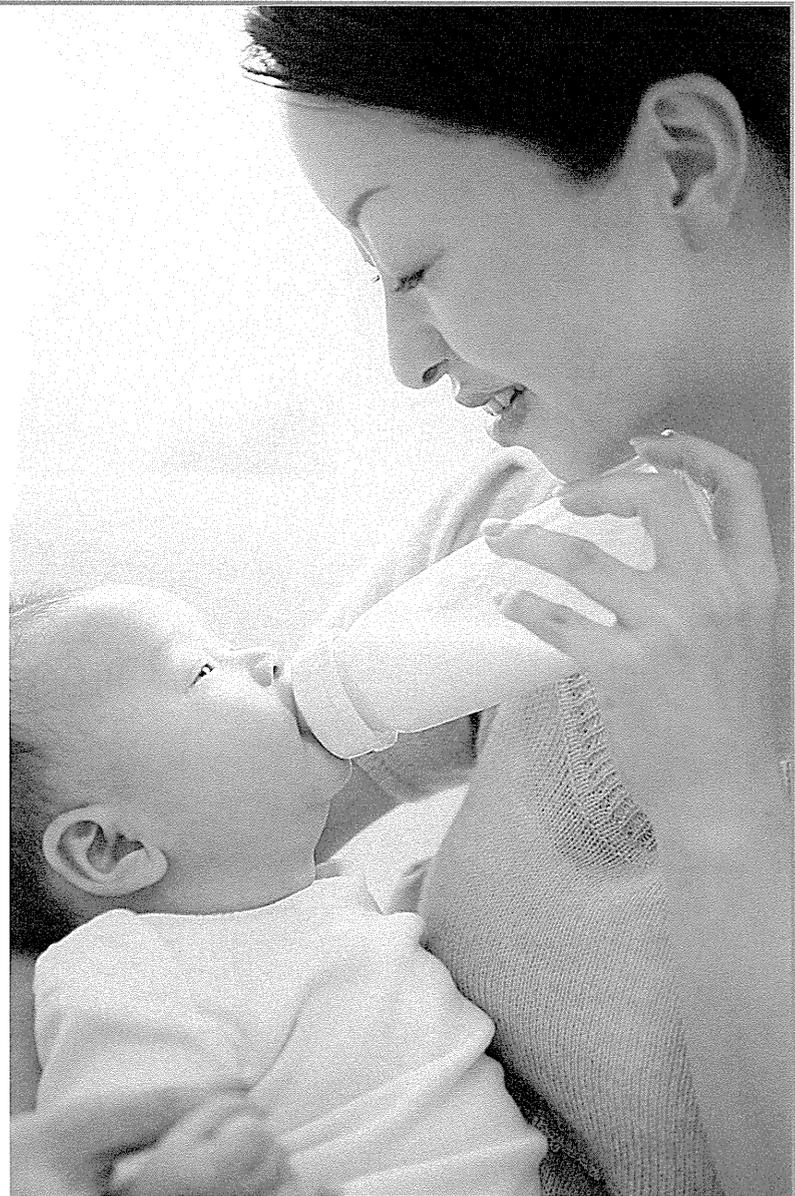
講演3 19:00-19:30

『ATL治療の現状』
長崎大学原爆後障害医療研究所
原爆・ヒバクシャ医療部門
血液内科学研究分野(原研内科)
教授 宮 崎 泰 司

講演4 19:30-20:00

『HTLV-1 総合対策3年目の現状』
東京大学大学院教授
新領域創成科学研究科
メディカルゲノム専攻専攻長
渡 邊 俊 樹

閉会の挨拶 20:00-20:10



主催 長崎県ATLウイルス母子感染防止研究協力事業連絡協議会・厚生労働科学研究増崎班

共催 長崎産科婦人科学会・長崎県産婦人科医会・長崎県母性衛生学会

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

平成23年（2011年）研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
増崎英明	HTLV-1 母子感染について	日本医師会雑誌	140	808-811	2011
三浦清徳、増崎英明	HTLV-1	臨床婦人科産科	65	1029-1037	2011
増崎英明	HTLV-1 母子感染防止 -長崎県における 24 年間の取り組み-	日本周産期・新生児医学会雑誌	47	182-189	2011
築山尚史、三浦清徳、 増崎英明	母子感染の管理-④ HTLV-1-	臨床婦人科産科	66	182-189	2011

新聞報道等

1. 増崎英明:「白血病ウイルス 公費で検査 国の対策 長崎が手本」朝日新聞 2011年7月7日
2. 増崎英明:「長崎県協に保健文化賞 ATL 対策を評価」西日本新聞 2011年10月26日
3. 増崎英明:「白血病ウイルス 公費で検査 国の対策 長崎が手本」朝日新聞 2011年10月26日

平成 24 年（2012 年）研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
増崎英明	長崎県 ATL ウイルス 母子感染防止協力事 業平成 23 年事業報 告	長崎県 ATL ウ イルス母子感 染防止協 力事業平成 23 年事業 報告書		1-4	2012
Kamihira S, Iwanaga M, Doi Y, Sasaki D, Mori S, Tsurda K, Nagai K, Uno N, Hasegawa H, Yanagihara K, Morinaga Y, Tsukasaki K, Taniguchi H.	Heterogeneity in clonal nature in the smoldering subtype of adult T-cell leukemia: continuity from carrier status to smoldering ATL.	Int J Hematol.	J 95	399-408	2012
Kamihira S, Usui T, Ichikawa T, Uno N, Morinaga Y, Mori S, Nagai K, Sasaki D, Hasegawa H, Yanagihara K, Honda T, Yamada Y, Iwanaga M, Kanematu T, Nakao K.	Paradoxical expression of IL-28B mRNA in peripheral blood in human T-cell leukemia virus type-1 mono-infection and co-infection with hepatitis C virus.	Virology J	9	40	2012

新聞報道等

1. 増崎英明:「ATL 予防対策 国が本腰「長崎方式」普及目指す」長崎新聞 2012 年 8 月 6 日

平成 25 年（2013 年）研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
増崎英明	HTLV-1 母子感染	別冊日本臨床	25	708-711	2013
増崎英明	HTLV-1 母子感染対策事業における保健師の役割 長崎県における取り組みを中心に	保健師ジャーナル	69	795-800	2013
三浦清徳、築山尚史、増崎英明	HTLV-1	臨床婦人科産科	67	152-162	2013
Moriuchi H, Masuzaki H, Doi H, Katamine S	Mother-to-child transmission of human T-cell lymphotropic virus type 1.	Pediatr Infect Dis J	32	175-177	2013
築山尚史、三浦清徳、増崎英明	長崎県における HTLV-1 母子感染防止の取り組み	日本産婦人科・新生児血液学会誌	22	45-54	2013
築山尚史、三浦清徳、増崎英明	長崎県において 26 年間継続した HTLV-1 スクリーニング検査から得られた母子感染防止効果の検証とスクリーニングシステムの開発	九州連合産婦人科学会誌	64	66-69	2013
Ishihara K, Inokuchi N, Tsushima Y, Tsuruda K, Morinaga Y, Hasegawa H, Yanagihara K, Kamihira S	Relevance of molecular tests for HTLV-1 infection as confirmatory tests after the first sero-screening.	J Immunoassay Immunochem	35	74-82	2014

新聞報道等

1. 増崎英明、三浦清徳：「～長崎県の妊婦 HTLV-1 スクリーニング検査～25 年間継続で母子感染予防と ATL 撲滅に有効」Medical Tribune 2014 年 3 月 13 日

V. 研究成果の刊行物・別冊